



2020年10月28日

各位

会社名 株式会社 日本取引所グループ
 代表者名 取締役兼代表執行役グループCEO 清田 瞭
 (コード 8697 東証第一部)
 問合せ先 広報・IR部長 宮司 和幸
 (TEL (03)3666-1361)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年4月30日に開示しました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期連結業績予想及び1株当たり配当予想について、下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	営業収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株 当たり当期 利益
前回発表予想(A)	百万円 121,500	百万円 62,000	百万円 62,100	百万円 43,100	百万円 42,500	円 銭 79.37
今回修正予想(B)	126,000	65,500	65,600	46,000	45,500	85.00
増減額(B-A)	4,500	3,500	3,500	2,900	3,000	
増減率(%)	3.7%	5.6%	5.6%	6.7%	7.1%	
(参考)前期連結実績 (2020年3月期)	123,688	68,533	69,095	48,314	47,609	88.91

2. 修正の理由

当社は、2020年4月30日に開示しました「2020年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」(以下、「前回開示資料」といいます。)に記載した連結業績予想数値の前提となる通期の1日平均の売買代金・取引高について、最近の市況動向を踏まえ、株券等(※1)を3兆1,000億円(前回開示資料比1,000億円増)、長期国債先物取引を31,000単位(同8,000単位減)、TOPIX先物取引を104,000単位(同2,000単位減)、日経平均株価先物取引(※2)を214,000単位(同4,000単位増)、日経平均株価指数オプション取引(※3)を260億円(同15億円増)に見直すこととし、上記のとおり、通期連結業績予想を修正いたします。

※1 東証市場第一部・第二部、マザーズ、JASDAQ及びTOKYO PRO Market並びにETF、ETN及びREIT等に係る売買代金(立会内外含みます。)

※2 日経225mini先物取引高は日経平均株価先物取引における取引高へ換算しております。

※3 Weeklyオプション分を除きます。

3. 配当予想の修正について

当社は、金融商品取引所グループとしての財務の健全性、清算機関としてのリスクへの備え、当社市場の競争力強化に向けた投資機会等を踏まえた内部留保の重要性に留意しつつ、業績に応じた配当を実施することを基本とし、具体的には、配当性向を60%程度とすることを目標としております。

上記方針のもと、連結業績予想の修正により親会社の所有者に帰属する当期利益の増額が見込まれることから、2021年3月期の期末の配当予想につきましては、1株当たり26円に修正いたします。

なお、2020年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）につきましては1株当たり26円に決定しております。詳細につきましては、本日別途開示しております「剰余金の配当に関するお知らせ」をご参照ください。

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	24.00	24.00	48.00
今 回 修 正 予 想		26.00	52.00
当 期 実 績 （2021年3月期）	26.00		
前 期 実 績 （2020年3月期）	24.00	30.00	54.00

ご注意：本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上